

このお知らせを該当するユーザーマニュアルに挟んで保管いただくことを推奨いたします。

Statistical Uncertainty の変更後、最適化の結果が間違っている可能性がある

製品：Monaco®

日付：2024 年 11 月

参照番号（フィールドチェンジオーダー、FCO）：382-05-MON-058

フィールドコレクティブアクション(FCA)番号（該当する場合）：該当なし

関連先：MONJ-15683

このドキュメントには、Elektaグループの機密情報および専有情報が含まれており、これらの情報はこのドキュメントを受け取った人のみが使用できます。本ドキュメントは著作権保護の対象であり、Elektaの書面による許可のない本ドキュメントの配信、配布、または複製は固く禁じられています。

適用範囲：	<p>オリジナルの Monte Carlo 法線量計算アルゴリズムを使用して Monaco 6.2.2 以上を使用するお客様（XVMC のみ）。</p> <p>この製品に関するお知らせは、Unity 計算を含む Collapsed Cone や GPUMCD の計算には該当しません。</p>
説明：	<p>最適化後に計算の Statistical Uncertainty を変更すると、線量が削除され、第 2 段階の最適化を再度使用できるようになります。このオプションを選択すると、Monaco の最適化で使用する線量の値が、IMRT コストファンクションの評価時に誤って測定されます。線量測定が誤っていることは、最終的な線量計算後に GUI 内でのみ判明します。その結果の計画では、最適化の問題が正しく解消されていません。当該問題は、XVMC アルゴリズムで実行される最適化と計算にのみ影響します。</p> <p>望ましい結果ではありませんが、セグメント、線量、モニタユニットはすべて一致します。計画が最適化の基準を満たしていないため、線量体積ヒストグラム（DVH）と isoeffect は予想したとおりには表示されません。</p> <p>計画は引き続き承認プロセスを経る必要があり、望ましい結果が得られなければ承認されません。いずれの場合も、照射線量は表示の線量と一致します。</p>

解決策：	<p>問題が生じた場合：</p> <ul style="list-style-type: none">- 第1段階の最初に最適化をリセットし、XVMC 線量計算に必要な最終的な Statistical Uncertainty を使用するため再スタートします。または- アンロード、リロード、最適化を最初から行います。 <p>問題を完全に回避する方法：</p> <ul style="list-style-type: none">- XVMC 線量計算の Statistical Uncertainty を変更してから最適化を続行しないでください。または- Statistical Uncertainty が変更された後に再計算し、それ以上の最適化を行わないでください。 <p>この問題は、将来の Monaco リリースで解決される予定です。</p>
テクニカル リファレンス：	該当なし
お問い合わせ先：	この通知についてご質問等ございましたら、担当のエレクタケアサポートセンターまでご連絡いただきますようお願い申し上げます。